

図書館だより

6月

船穂中学校図書館 2025年6月

梅雨の季節に入ることを「入梅」（にゅうばい）といい、これ以後1か月間は雨の多い日が続きます。「梅雨」という言葉は、ちょうど梅の実が熟す頃、雨が降ることからつけられたものと言われています。

梅雨入りして雨が続く日は、部屋でゆっくり本を読んでみませんか。

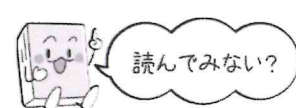


- ★読書感想文課題図書
- ★部活動応援本
- ★LGBTについて知ろう

今月の展示



6月は世界的なLGBTQ+月間 (Pride Month) です



『個性ってなんだろう?』



『カラフルなぼくら』 スーザン・クーリン 著
LGBTの若者たちが、どのように自らの性と向き合い、自分らしい生き方へ踏み出していったかを追った翻訳ノンフィクション。

性の多様性とは?
疑問や不安にこたえる1冊



もうすぐ総体☆コンクール

部活動を応援する本を展示中!

『青春サブリ。』 青木美帆 文
部活を通じて自分を変えるきっかけに出会い、部活によって成長していく中高生を描いた実話です。色々な部活動が出てきて共感できると思いますよ!

岡山県指定図書が決まりました

*課題図書・指定図書は全て船穂中学校図書館にあります。



令和7年度 岡山県指定図書



『15歳の昆虫図鑑』

五十嵐 美怜 著 <講談社>

五人の中学三年生を主役にしたオムニバス形式の連作短編集。友達に気を遣いすぎてがんじがらめになっている真優、同性の友達にときめいてしまうことに戸惑う健都、退屈な田舎と決められた将来にうんざりしている航平、SNSで出会った相手と寂しさを紛らわす咲、他人の気持ちがわからない虫好きの吉岡。五人の成長や気づきを昆虫をモチーフに描いた物語。



『アフェイリア国とメイドと最高のウソ』

ジェラルディン・マコックラン 著 大谷真弓 訳 <小学館>

2か月間雨が続くアフェイリア国。この先も天候が回復しないと知った女性最高指導者は、「視察」とウソをつき、職務を投げ出して逃亡してしまった。首相の屋敷で働いていた15歳のメイド・グローリアは、当分の間、最高指導者の影武者をするよう命じられる。

水害に立ち向かう少女の冒険と成長の物語。



『これから大人になるアナタに伝えたい10のこと』

サヘル・ローズ 著 <童心社>

戦争に人生を翻弄され、養母と共に来日してからも、貧困やいじめに苦しんできたサヘル・ローズ。暗闇と孤独の中を生き抜いてきたサヘル・ローズが、悩みの中にいる子供たちの孤独や痛みに寄り添い、自分らしく生きていくためのヒントを綴ります。



5月号で紹介しましたが、課題図書はこちら

【第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書】

わたしは食べるのが下手	天川栄人	小峰書店
スラムに水は流れない	ヴァルシャ・バジャージ	あすなろ書房
鳥居きみ子:家族とフィールドワークを進めた人類学者	竹内紘子	くもん出版

読書感想文は、2000字です。詳しくは図書館へ。



☆STAR★BOOKS しおり

本を借りると1枚
プレゼント♪

雨が降っても楽しく読書♪



無くなり次第
終了だよ～

